

ボランティアの“心得”と 次世代への継承

～鍵は「楽しさ」の共有と 次世代の創造的活動への信頼

(社福)大阪ボランティア協会 理事長
同志社大学 政策学部 客員教授

早瀬 昇

1965年設立(今年、創立57年目)の民間市民活動推進組織
大阪ボランティア協会(大阪ボラ協)で活動してきました。

1973年に**電子工学**を学ぶ大学生になったのに、ひょんなことで
大阪ボラ協に拠点を置くボランティアグループに参加。

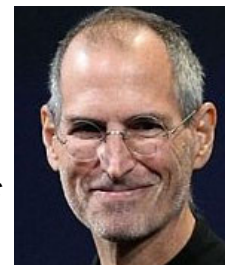
結局、1978年、**大阪ボラ協**に就職。1991年から事務局長を
務め、**企業市民活動推進センター**を創設。阪神・淡路大震災
では**日本初の災害ボランティアセンター**を創設。**NPO法**の
立法運動などにも関わった後、2010年に退職。2019年から
ボランティアの立場で理事長を務めています。

1996年に創設した**日本NPOセンター**の代表理事も2010年
から2018年まで務めていました。(今は顧問)

また現在、**日本ファンドレイジング協会**の副代表理事、**日本
ボランティアコーディネーター協会**の運営委員も務めています。

また2019年度に地域の**自治会長**を仰せつかり、住民の皆さんの
お話を伺いながら、仲良く住みよい地域にするべく努力しました。

2020年度から**同志社大学**政策学部の客員教授も務めています。



★ 私のお話のポイント ★

ボランティア活動は、元来、とても**自由な活動**です。つまり、「～するべし」「～するべからず」という形の“心得”は設定しにくい活動だと言えます。

ただし、**ボランティアならではの力**を発揮し、参加の輪を広げ、活動のバトンを渡す人たちが元気に活動する**秘訣**があります。今日は、この点をお話したいと思います。

★ 今日のお話の構成 ★

1. 「ボランティア」という**言葉の由来**
2. 元来、とても**自由なボランティア活動**
3. **自発的だからこそその強み**
4. 「**善意**」「**正義**」意識の落とし穴
5. **仲間づくり、連携**…のための発想法
6. 後に続く人たちが**伸びる環境整備**

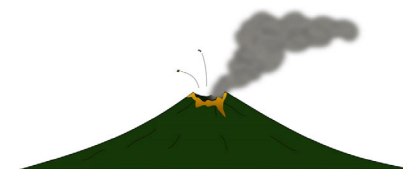
1. 「ボランティア」という言葉の由来



1. 「ボランティア」という言葉の由来 (1) 「ボランティア」と似た言葉



volley ball



volcano

Volunteer
と似ている!

1. 「ボランティア」という言葉の由来 (2) WILLの活動 ボランティア

volunteer: volunte + er (人を示す接尾辞)

↑
voluntas (ヴォルンタ〜ス (ラテン語) 自由意思)

語幹: ラテン語・volō (ヴォロ…と読みます)

⇒ 英語の will (喜んで〜する) にあたる言葉

⇒ 「〜したい!」と思って始める人、その行動

< 言葉が生まれ、意味が広がった歴史 >

・紀元前218~201年、第2ポエニ戦争(ハンニバル戦争)の際、BC216年に古代ローマ共和国がカルタゴに大敗。彼ら(志願兵)をvolō(ヴォロ: 複数形は voluntarii) と呼称。



戦象と共にアルプスを越える!!

↓
・ローマ軍に志願する奴隷は奴隷の身分から解放する制度を導入。彼ら(志願兵)をvolō(ヴォロ: 複数形 voluntarii) と呼称

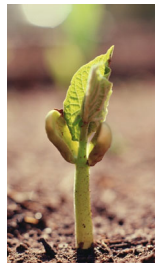
<言葉が生まれ、意味が広がった歴史>

・17世紀前半、乱世の(政府に頼りにくい状態の)イギリスでvolunteerが使われ始める
(元来、「自治」の志向をもつ言葉)

・**自警団**(政府に頼らず、自ら仲間や地域を守る)

→**志願兵**(徴兵ではなく、自ら志願する)

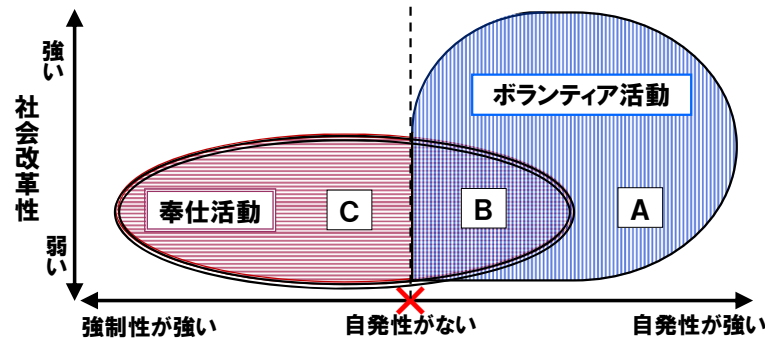
※ アメリカ独立戦争などでも活躍
元々、移民の国 アメリカは開拓者たちのボランティア活動で国造り



→**社会問題解決活動の志願者** / **自生植物**

1. 「ボランティア」という言葉の由来

(3) ボランティア活動と奉仕活動の違い



自発的でない活動は、ボランティア活動とは呼ばない

(3) ボランティア活動と奉仕活動の違い

「ボランティア活動」と「奉仕活動」の関係は？

(日)奉仕 ⇒(英)SERVICE

いわゆる「ボランティア刑」は誤用。英語では
“community service”

同じ兵隊でも…

志願兵:volunteer

兵 役:military service、civil service

徴 兵:draft ※英語では、明確に言葉を区別

2. 元来、とっても自由な ボランティア活動

～行政とは大きく異なる
もう一つの公益活動の
スタイル



2. 元来、とても自由なボランティア活動

(0) ボランティアの堅いイメージの背景

理科系の私が、
大阪ボランティア協会に
就職したら…

父親が激怒

その時、母親が言ったのが…

「お父さん、あきらめなさい。
お地蔵さんになったと思って…」



2. 元来、とても自由なボランティア活動

(1) テーマ、対象を選べる

お役所は「全体の奉仕者」。公平・平等が大原則。
では、私たちは…

・何をするか? ⇒ **選ばないと始められない**

・どうやって、選ぶか?
⇒ 一番の鍵は、好きなテーマ

※「野鳥の会」はあるけれど、「野へびの会」はない
ボランティアは、公平にしなくて良い!

2. 元来、とても自由なボランティア活動

(2) 始めたら止められない…ことはない!

お役所では「朝令暮改」は禁忌。
始めたら、止められない。
では、私たちは…

・「細く長く」の本当の意味は?

⇒ 長く続けるため、派手さは避け、地道にコツコツ△

⇒ 細くても良い。長く続けた方が楽しい、面白い!○

・入しやすい「お店」のポイントは?

— 「出やすい店」!!

2. 元来、とても自由なボランティア活動

(3) 私を「開く」と「公共的」になる

～ 普段の暮らしの“すぐ隣り”にある世界

・私立の美術館も公共施設である理由は…
コレクションを公開するから

・会社の福利厚生施設を開放すると…
企業の社会貢献活動になる

・休日に子どもらと遠足。近所の子も誘うと…
定期化すれば、子ども会!

2. 元来、とても自由なボランティア活動

(3) 私を「開く」と「公共的」になる

～普段の暮らしの“すぐ隣り”にある世界

中之島と船場の間
淀川下流の土佐堀川
に架かる「淀屋橋」

大坂の淀屋は、なぜ
「淀屋橋」を架けたのか？

渡りたかったから！
(渡ってほしかったから！)

自分のためでも、
みんなのためにもなれば
「公共的」になる



2. 元来、とても自由なボランティア活動

(4) ボランティア活動は恋愛に似ている

- ① 自発的な無償の行為
- ② 対象を選べる
- ③ 好きであることが選択の重要な基準となる
- ④ “機能”以上に“存在”に意味がある関わりである
- ⑤ 出会いは偶然によるところが多い
- ⑥ しんどいこともあるが自分自身も元気になる活動
- ⑦ 自分が満足するだけでは、うまくいかない
- ⑧ 止める時、別れる時が辛く難しい
- ⑨ 心移りをするところがある …

★ 違うのは、「開いている」か「閉じている」か

3. 自発的だからこそその“強み”

～ボランティアならではの
魅力確認



1. 自発的だからこそその強み

(1) 大震災で認知された市民活動の意義

- ・全体に拘束されないから「機動的」
⇒ “ほっとかれへん！”のフットワークが生きる
- ・それぞれの個性を活かすがゆえの「多彩さ」
⇒ “みんな違う”から気づけ築ける多様な課題と活動
- ・個々に応じることができるから「温かい」
⇒ “不公平にならざるを得ない”ことが強みに！
- ・自己責任で多彩な活動を「開発・創造」

※ 行政と民間の協働が進むと…

多様・多彩な民間の公共サービス



行政による公平な公共サービス

※ ただし、これは企業も含む民間の特性

実は「企業も、相手によっては、温かい！」

たとえば、この会社の場合…  **JAPAN AIRLINES**

1年間に50回以上、乗ると…

「サクララウンジ」に入れる。ビールも飲み放題!

1年間に80回以上、乗ると…

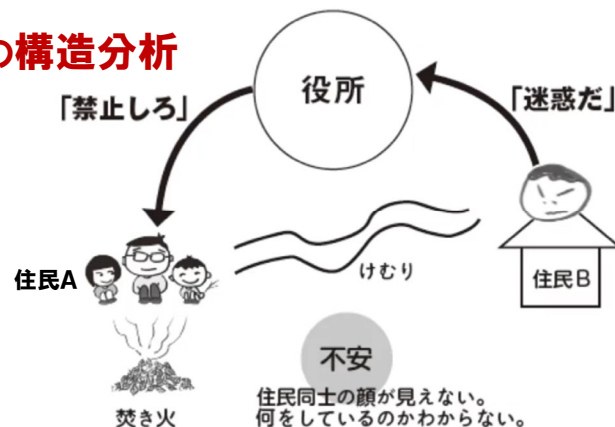
「ダイヤモンド・プレミアラウンジ」に入れる。ビールは…



2. 真の課題:「お客様化」社会の病い

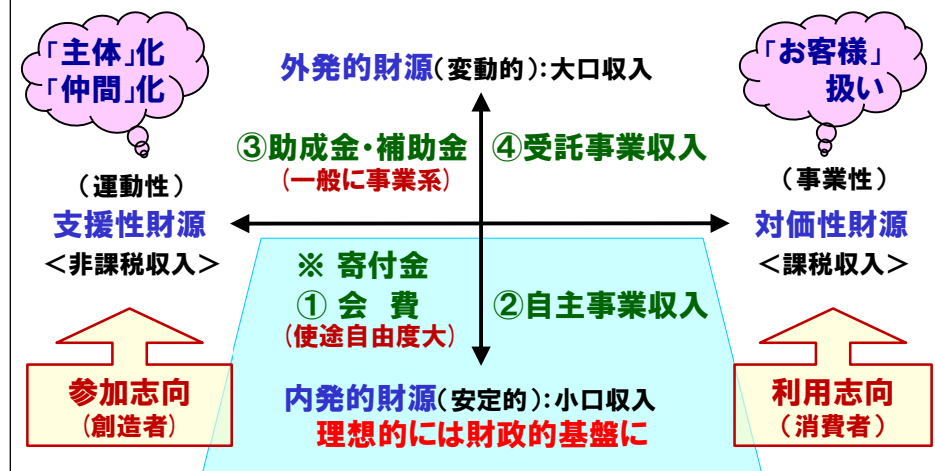
(1) 広がる「お客様化」問題

禁止の構造分析



(出典)『遊びの生まれる場所』西川 正から

「消費」の対語は「生産」? いや、「参加」では?



※ 市民が「参加」することの意義

『日本人は民主主義を捨てたがっているのか?』(想田和弘著)から



想田和弘さん

政治家は政治サービスの提供者で、主権者は投票と税金を対価にしたその消費者であると、政治家も主権者もイメージしている。そういう「消費者民主主義」とでも呼ぶべき病が、日本の民主主義を蝕みつつあるのではないかと。主権者が自らを政治サービスの消費者としてイメージすると、政治の主体であることをやめ、受け身になります。そして、「不完全なものを買わぬ」という態度になります。それが「賢い消費者」による「あるべき消費行動」だからです。最近の選挙での低投票率は、「買いたい商品＝候補者がいないから投票しないのは当然」という態度だし、政治に無関心を決め込んでいるのは、『賢い消費者は、消費する価値のないつまらぬ分野に関心を払ったり時間を割いてはならない』という決意と努力の結果なのではないかと思うのです。

(2) 市民活動で人々が社会の「当事者」となり 市民による「自治」の街をつくる

～活動の方向性を定め、自治を進める「当事者」

存在として「当事者」である人(課題を抱える人々)

⇒対語: 第三者的に傍観(他人事扱い)されやすい
・かわいそう、役所が悪い、私は関係ない…

行為により「当事者」になる人

⇒市民を「当事者」にしていく市民活動
自身で悩み工夫し解決する中で「自分事」に

(2) 市民活動で人々が社会の「当事者」となり 市民による「自治」の街をつくる

～活動の方向性を定め、自治を進める「当事者」

課題と出合う

(誘われたから/お付き合いで……)



自分自身のあり方、関わり方を「問う」

(問題をどう受け止めれば良い? 自分は関係ないのか?
将来の自分の問題ではないのか? 自分が活かさないか…)



自分が関われば変えられる! …かもしれない…

(変える力が自分にある…かもしれない。よし、やろう!)

※「無償」であることにも積極的意味

① 仲間・同志の関係を築きやすい

～「ギフ&テイク」の関係を越えたつながり

※「雇用主vs労働者」「債権者vs債務者」という対抗関係になりにくい

② 金の切れ目が縁の切れ目…にならない「絆」関係

③ 金銭的尺度での評価を避けられる

～「価格づけ」による評価や比較がなされない

④ 金銭的対価に伴う拘束から自由に活動できる

⑤ 自己利益を超えた共感性の高い発信ができる

～「私欲がない」行為ゆえの発信力・共感力・調整力

※ お金がかからむ募金活動や、利害調整などでは、特に重要!

3. 活動する人自身も、元気になる

～ 人口構成は、どう変化するか

	2020年		2025年		2030年	
総人口	1億2,533万	1億2,254万	△278万 △2.2%	1億1,913万	△620万 △4.9%	
0～14歳	1,508万	1,407万	△100万 △6.6%	1,321万	△186万 △12.4%	
15～64歳	7,406万	7,170万	△236万 △3.2%	6,875万	△530万 △7.2%	
65歳～	3,619万	3,677万	58万 1.6%	3,716万	262万 7.7%	

国立社会保障・人口問題研究所による
中位推計

3. 活動する人自身も、元気になる

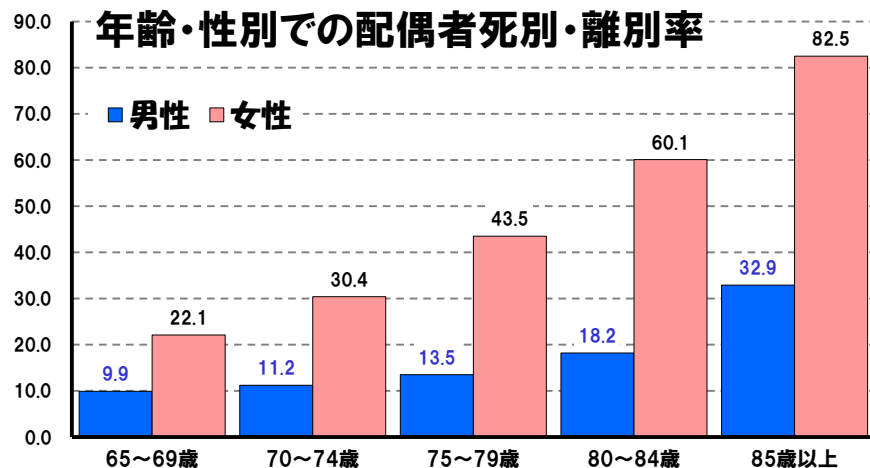
年齢・性別での認知症有病率



東京都健康長寿医療センター
の報告書(2014年3月)から

3. 活動する人自身も、元気になる

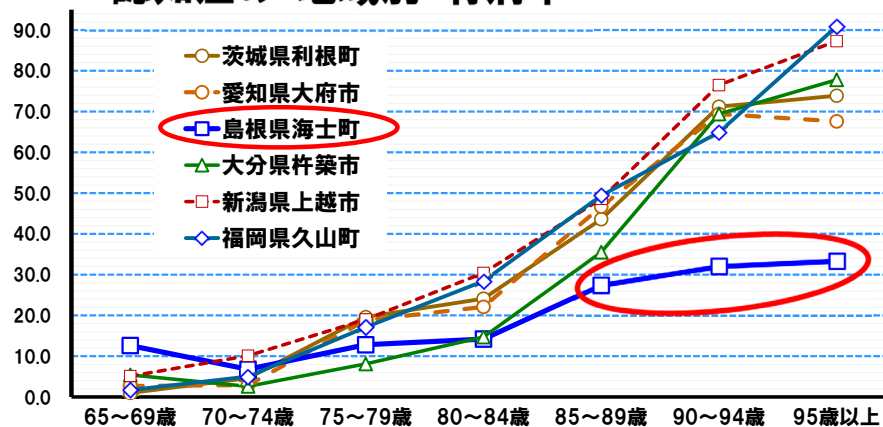
年齢・性別での配偶者死別・離別率



国勢調査
(2015年)から

3. 活動する人自身も、元気になる

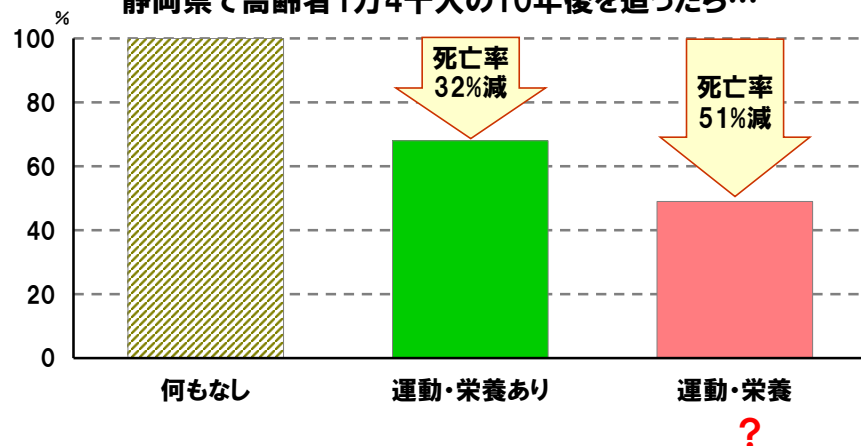
認知症の“地域別”有病率



総合研究報告書「都市部における認知症有病率と
認知症の生活機能障害への対応」(2013)から

3. 活動する人自身も、元気になる

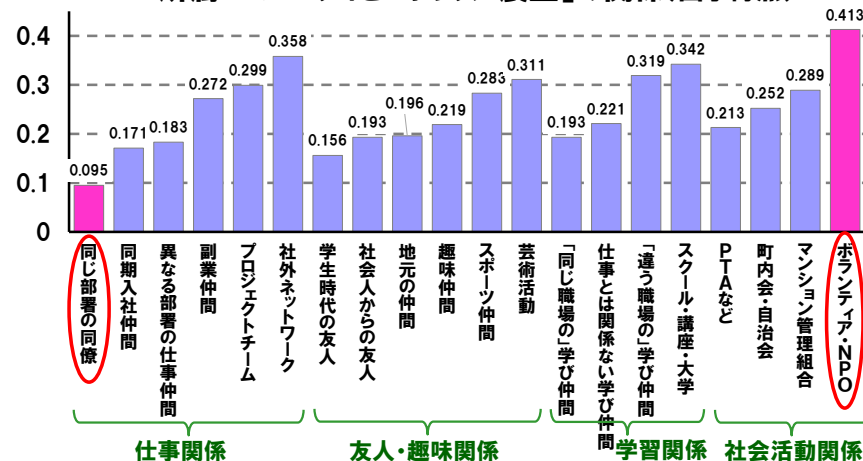
静岡県で高齢者1万4千人の10年後を追ったら…



「静岡県高齢者コホート調査に基づく運動・栄養・社会参加の死亡に対する影響について」(第58回 東海公衆衛生学会)

※ ボランティア活動参加は「前向き」を促進

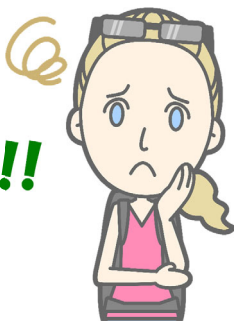
所属コミュニティと「キャリア展望」の関係(因子得点)



(出典)リクルートワークス研究所(2018)「人生100年時代のライフキャリア」の掲載図を元に一部修正。「キャリア展望」とは、今後のキャリアの見通しが開けている状態。数値は今後のキャリアや人生について「自分で切り開いていける」「前向きに取り組んでいける」「明るく思う」の合成変数。 34

4. 「善意」「正義」意識の落とし穴

～ 活動を進める際に
心得たいポイント!!



1. 「善意」が効果を生む保証はない

(1)たとえば…「救援物資」にひそむ課題

—「救援物資は被災地を襲う第2の災害」(米国の格言)

- ①. 物に心を託す—「物語り」という言葉を持つ国、日本
- ②. 救援物資の課題
 - i. 「仕分け」という負担(企業の物資が重宝な理由)
 - ii. 報道による過剰なリアクション
 - iii. 「余っても返せない」物資の需給調整は不可能
 - iv. 配給システムの不効率(個別ニーズへの対応が困難)
 - v. 時に被災地の店舗復興を妨害する無償配布の継続

※ 被災地で喜ばれなかったものは…

1. 千羽鶴、応援メッセージなどの寄せ書き
2. 成分表が読めない海外食品(アレルギーなどに不安)
3. 冷凍食品(停電で、冷蔵庫が使えない場合が多いため)
4. 保存食以外の食品
(配分に時間がかかる。賞味期限切れの食品も不安)
5. 古すぎる古着、洗濯していない毛布、使用済みの下着
などなど

2. 応援を受ける際の「壁」

(1) 阪神大震災時の「御用聞き」では……

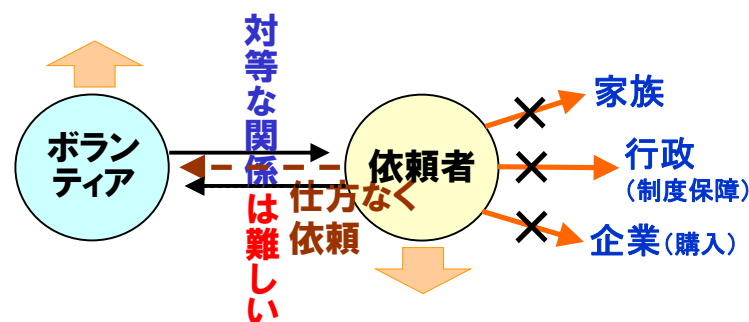
✗ 何かすること、ありませんか？
May I help you?

○ どなたか、困っておられる方、
ご存じありませんか？
教えて下さいますか？
Do you teach me ... ?

主語が違う！

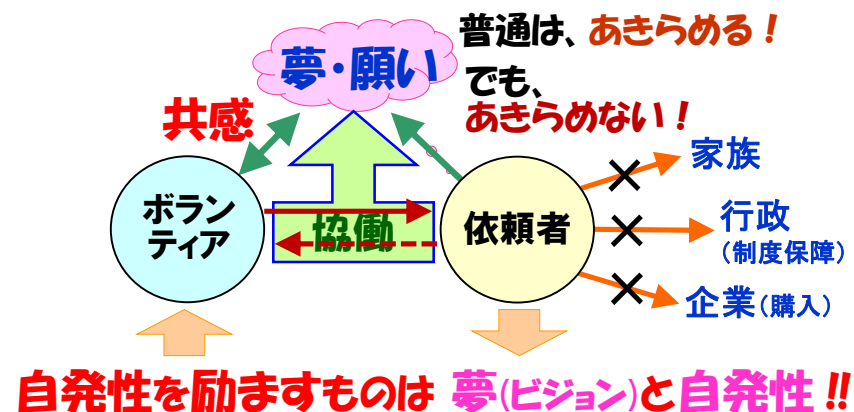
(2) ボランティアは望まれているか？

～依頼者とボランティアの関係を見つめ直すと～



(3) 依頼者の「勇気・姿勢」への「共感」が鍵

～豊かな協働関係に向けて～



※ ボランティア活動の心得は… 親友に接する際の心得と同じ

- ① 託された**秘密**を勝手に口外しない
- ② **約束**は守る。**期待**を裏切らない…ように努力する

※ 正しいことをしているのだから…
無償の活動だから…

感謝されて当たり前？

いい加減なことをしても許される？

…… わけではありません

※ **無償だからこそ**(文句を言われにくい立場だからこそ!!)
きちんとする! …を信条とする人もいます。

5. 仲間や後継者… のための発想法

~「**頑張る人ほど
疲れてしまう**」ことにならな
ないために



1. 自発的であるがゆえの弱点

(1)「**基準がない**」がゆえの「**しんどさ**」

自発的活動には、とても自由な面があるけれど…
(言われなくても、する! 言われても **納得しない**と、**しない**)

↓
ゆえに、**ここまですれば良い**という「**基準**」がない

行政⇒ 全体の合意(議会の了解、法令)

企業⇒ 経営者の自由な判断。だけど、**損は×**

市民活動⇒ **誰の了解(周囲の理解)がなくとも**
一銭の得にもならなくても、やる時はやる

1. 自発的であるがゆえの弱点

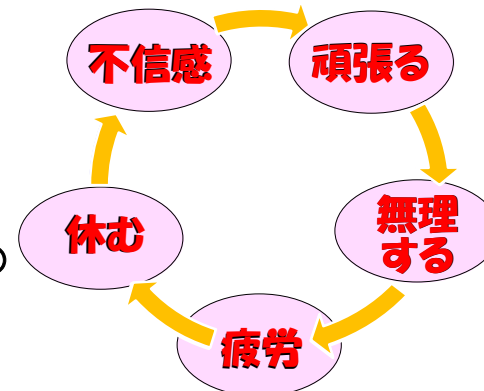
(1)「**基準がない**」がゆえの「**しんどさ**」

★**頑張る人ほど…
疲れてしまう!**

『**疲労と不信の悪循環**』
(早瀬 昇)

『**自発性パラドックス**』
(金子郁容)

『**惜しみなく愛は奪ふ**』
(有島武郎)



(2)「疲労と不信の悪循環」対策は？

★では、
対策は？



2. 弱点克服のための発想法

(1)多様な志向が並立・連携するために

熱心なグループほど「仲間割れ」を起こしやすい!

・「仲間割れ」をしない2つのパターン

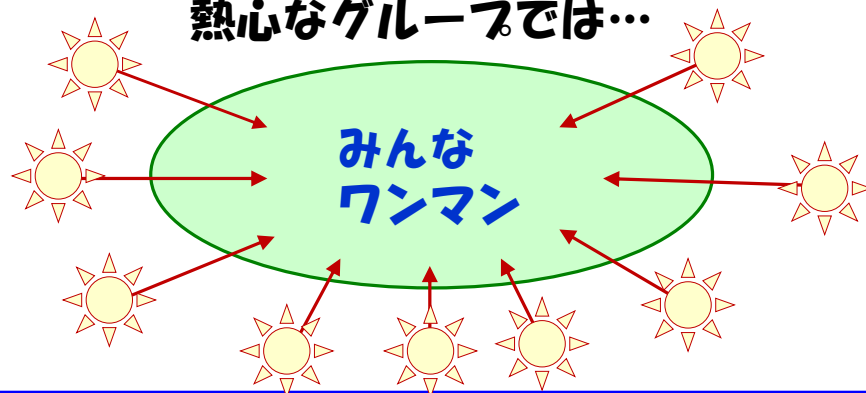


- ・あまり熱心ではない
- ・強力なドンがいる

2. 弱点克服のための発想法

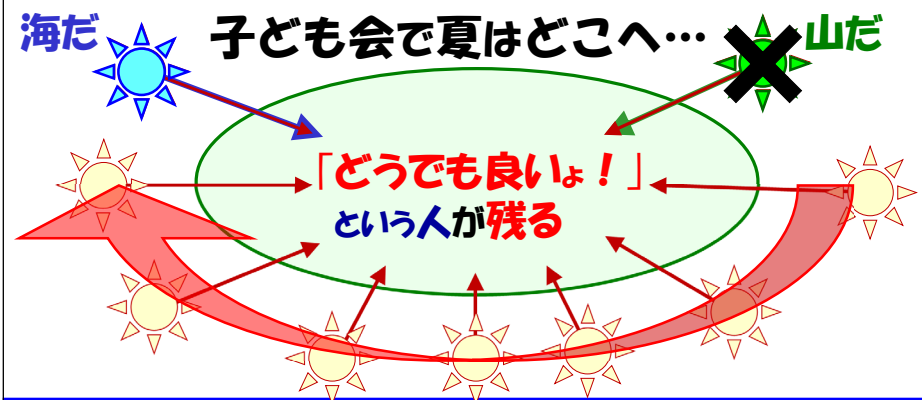
(1)多様な志向が並立・連携するために

熱心なグループでは…



2. 弱点克服のための発想法

(1)多様な志向が並立・連携するために



2. 弱点克服のための発想法

(1) 多様な志向が並立・連携するために

かつての組織論だと…

一致団結!

**「敵」に立ち向かうには有効
だけど…**

2. 弱点克服のための発想法

(1) 多様な志向が並立・連携するために

元気なネットワークづくりの秘訣は…

※ そもそも「ネットワーク」は
組織ではありません。「面識」です
正しさを切り捨てず、
あれもこれも(複数並立、歓迎を!)

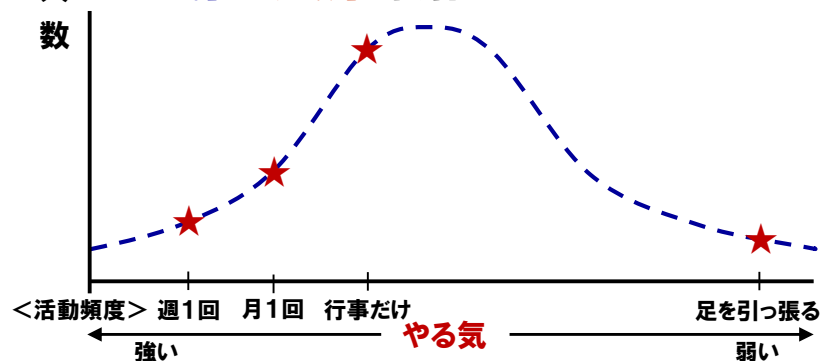
和して、同ぜず ← 論語にある
「孔子」の言葉。



2. 弱点克服のための発想法

(2) 多様な仲間の輪を広げるために

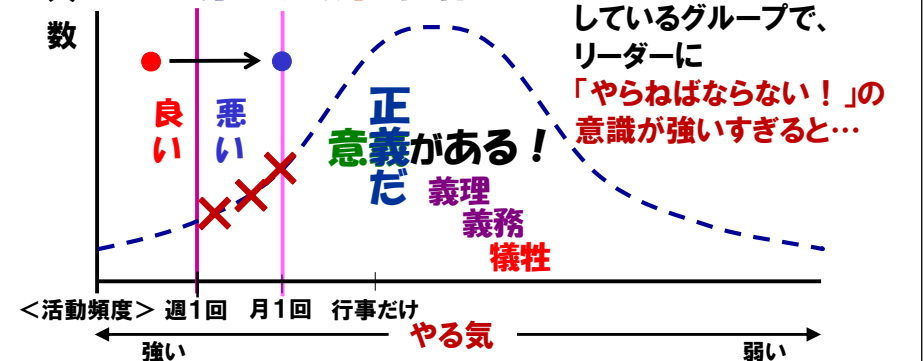
人「やる気」と「人数」の関係



2. 弱点克服のための発想法

(2) 多様な仲間の輪を広げるために

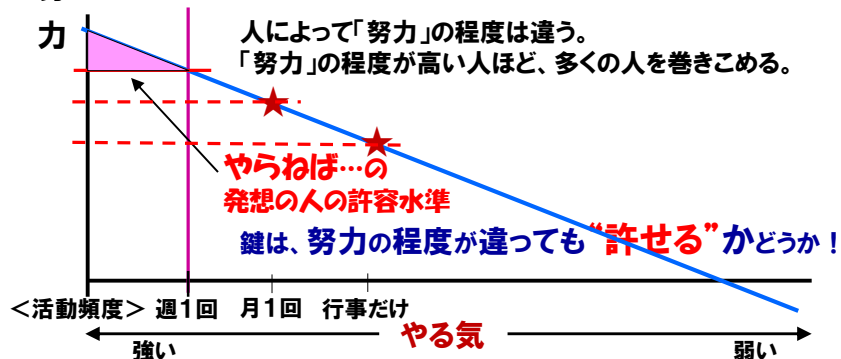
人「やる気」と「人数」の関係



2. 弱点克服のための発想法

(2) 多様な仲間の輪を広げるために

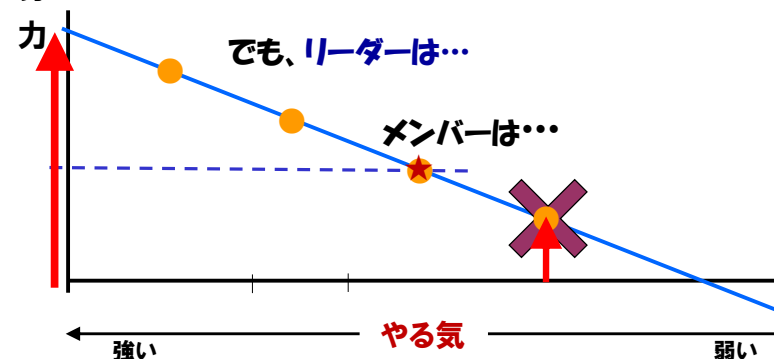
努「やる気」と「努力」の関係



2. 弱点克服のための発想法

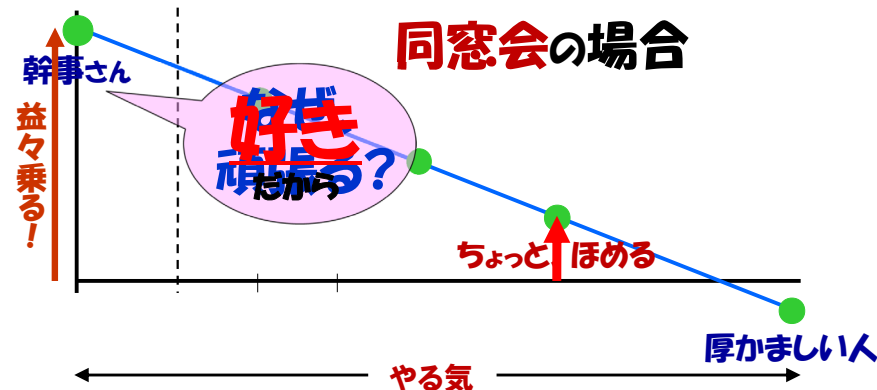
(2) 多様な仲間の輪を広げるために

努「やる気」と「努力」の関係

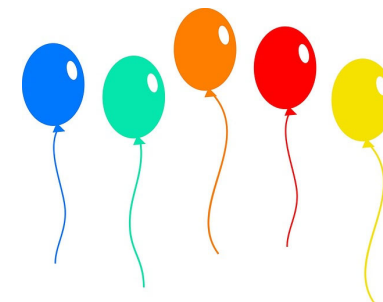


2. 弱点克服のための発想法

(2) 多様な仲間の輪を広げるために



6. 後に続く人たちが 伸びる環境整備



※ 『モチベーション3.0』 Drive The Surprising Truth about What Motivates Us

コンピューター同様、社会にも人を動かすための基本ソフト(OS)がある。



ダニエル・ピンク

「モチベーション 1.0」

⇒生存(サバイバル)を目的とする人類最初のOS

「モチベーション 2.0」

⇒アメとムチ=信賞必罰に基づく、与えられたモチベーション(外発的モチベーション)によるOS。ルーチンワーク中心の時代には有効だったが、21世紀を迎えて機能不全に陥る。

「モチベーション 3.0」

⇒自分の内面から湧き出る「やる気!」(ドライブ)に基づくOS。活気ある社会や組織を作るための新しい「やる気!」の基本形。

※ アメとムチの致命的な7つの欠陥

～目先の報奨プランや成果主義は有害な場合も

1. 内発的モチベーションを失わせる:アンダーマイニング効果
2. かえって成果が上がらなくなる:ソーヤー効果(報酬が遊び(しなくても良いのにする)を仕事(しなくてはいけないからする)に変える)が生じる
3. 創造性をむしろむしばむ:報酬は焦点を狭める(右脳を抑制してしまう)
4. 好ましい言動への意欲を失わせる:金銭的報酬が利他的な行動を抑え、善行を積みみたいという自発的欲求を阻む
5. ごまかし・近道・反倫理的行動を助長(罰金制の負の側面)
6. 依存性がある:報酬がなければ行動なくなり、より高額な報酬を求める
7. 短絡的志向を助長する:短期的成果で良しとしてしまう

参考

<https://www.youtube.com/watch?v=YcJJYQB0mYO>

※ 内発的な「意欲」が高まる3つの鍵

(1)「自律性」を高める

・自己決定:自ら選択・企画する。「駒になるより指手になる」

(2)「熟達」できる状況を作り出す

・達成感・有能感:困難を克服し、うまく成し遂げられる

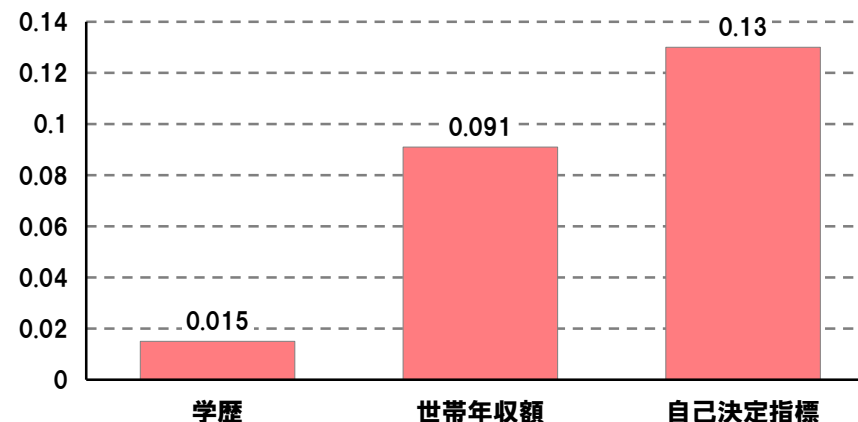
・成長感:成長欲求を満たす。活動を通じて一皮むけた感覚
新たな出会い……を得られる状況を作り出す!!

(3)大きな「目的」につなげられる環境を作る

・有用感:社会的に意味のある活動を、より自分らしく、
自分の強みを活かして行動できている

※ 自ら選べることの重要性

主観的幸福感を決定する要因の重要度(標準化係数)



(出典)幸福感和自己決定—日本における実証研究(西村和雄、八木匡。経済産業研究所、2018)「標準化係数」とは影響の度合いを示すもの。最大±1、最小0で、1に近いほど影響力が大きいと言える。

(1)「自律性」を高める…には ～参加促進の鍵:自ら**選択・企画**できる!

- ① **メンバーみんなの力(参加の力)を信じる!**
 ~Motivation2.0 自由を与えると人は怠ける
 ~Motivation3.0 人は本来、責任を果たしたいと望んでいる
- ② **メンバーに任せる!**
 - ・メンバーに“選ぶ/企画する”機会を保障する。
 - ・小チーム化で個々の裁量権拡大する。
 - ・最初は、参加するプロジェクトを小さくする(有期など)

(1)「自律性」を高める…には ～参加促進の鍵:自ら**選択・企画**できる!

- ③ **価値観(こだわり)/ビジョン(目標)を共同で策定し共有する!**(ここでも、企画段階から参加の機会を)
- ④ **活動の背景、環境、意味の情報を共有!**
- ⑤ **企画を練る場の雰囲気を開放的に!**
 - ・「**心理的安全性**」が守られる活動環境を作る
 ~松下幸之助「リーダーの条件は**愛嬌**があること」
 - ・スタッフのコーディネート力も問われる

※ 楽しい活動には「正解」がない!

「遊び」であった行為が、しなければならぬこと(正しいこと)になると、「仕事」になってしまい“内発的動機付け”が弱まってしまう!!



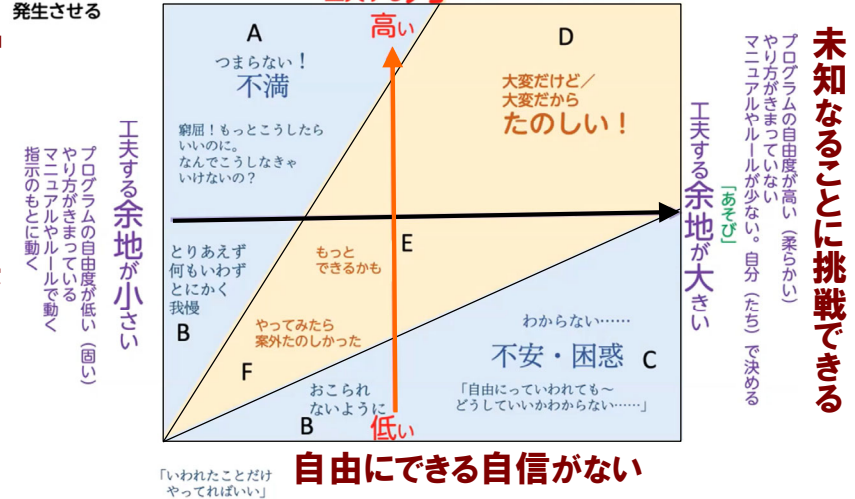
西川 正さん(ハンズオン埼玉)



ちょうどいい「余地」があることが遊ぶ(やってみる)を発生させる

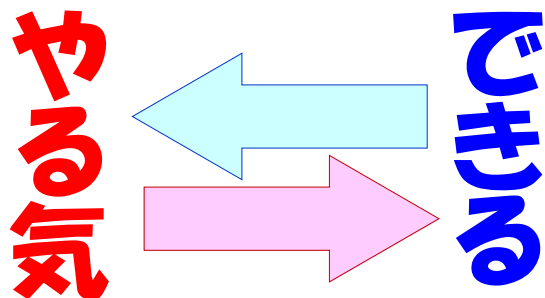
(個または集団としての) **挑戦できる自負がある**
 遊ぶ/いじる **工夫する力** 自己決定の力(リスク負う)

「正しい」ものが決まっている



西川 正さん(ハンズオン埼玉)の資料から

(2)「熟達」できる状況を作り出す



- ・ 達成できた実績を共有し合うこと！
- ・ 少し難しい(ちょっと危ない)目標設定がカギ

(3)大きな「目的」につなされる環境を作る

「意味」を求める病い

「わたし」のこの存在は他者からの承認にかかっている／特定のだれかにとってじぶんの存在がどのような意味をもって
いるか、その確認がひとの存在を支える
(「しんがいの思想」から)



鷲田清一氏

【意味づけ】が分かると
主体性・自発性が喚起され、
個性を活かした創造が誘発される

ここで、質問！

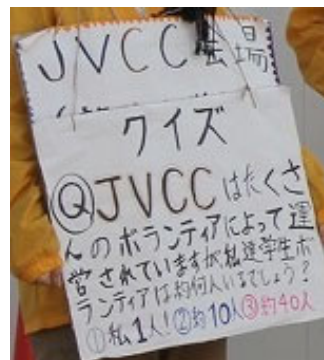
- Q. 大きなイベントの実施にあたり、ボランティアを募集した際、イベントに直接、関わるできない会場の案内役を担うボランティアに対して、どのような配慮(対応・声掛け)が必要でしょうか？

会場案内役のボランティアにしかできないことを伝える

※最初に参加者と出会う！
第一印象を作り出せる！

全国ボランティアコーディネーター研究集会 での会場案内ボランティアの工夫は…

2011年の京都大会では…



※ ボランティアならではの力は…

- ・個々に応じた温かい関わりが生まれる!!
- ・社会を良くする担い手となり、住民主体で素敵な地域を作り出せる!!
- ・社会に意味のある楽しい工夫が、地域に創造され、明るい地域が生まれる!!
(鍵は企画段階からの参画)

自発的とは、言われなくてもする。
言われても、納得しなかったら、しない。

ボランティア活動は、
MUSTではありません。

でも、**CAN**の世界です。

「正しさ」に寄りかからず、「楽しさ」を
共有しあい、次に続く人達の力を信じ
素敵な地域を創造していきましょう!!

早口ですみません。今日のお話は以上です。
ご清聴、ありがとうございました。

大阪ボランティア協会発行の情報誌「ウォロ」や
「参加の力」で創る共生社会」のご購入、ご購入も是非に!!

